

TC52x/TC52x-HC

タッチ コンピュータ



クイック リファレンス
ガイド



ZEBRA

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。© 2021 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア: zebra.com/linkoslegal

著作権: zebra.com/copyright

保証: zebra.com/warranty

エンドユーザー使用許諾契約: zebra.com/eula

使用の条件

所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、または同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

発行日

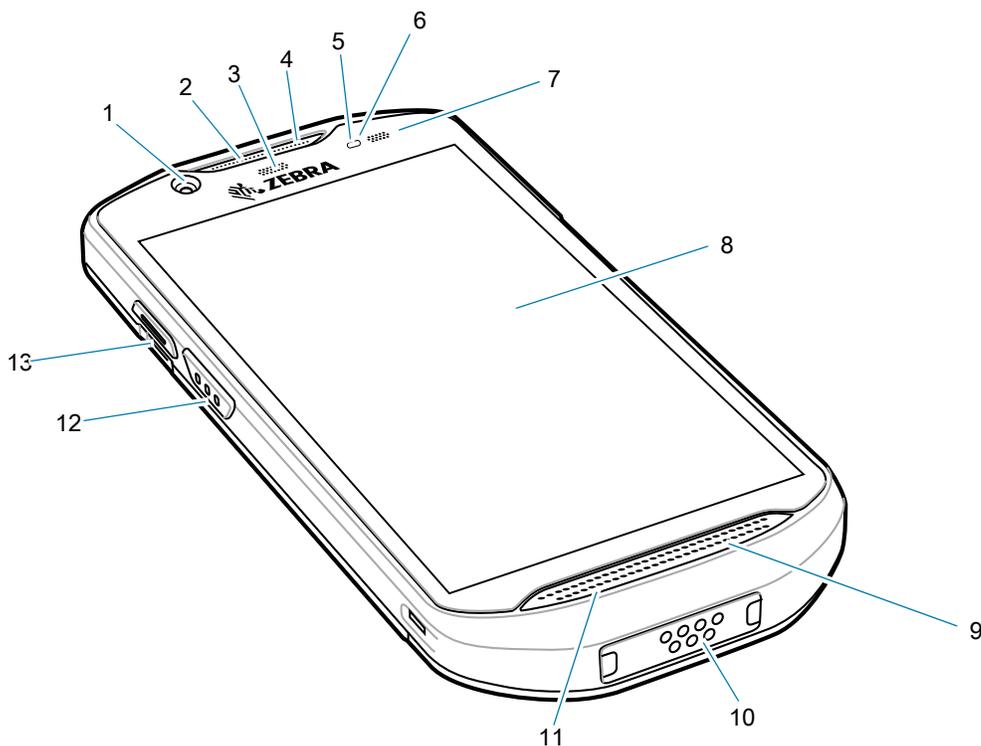
2020 年 11 月 20 日

機能



注意: デバイス下部の 7ピン インタフェース コネクタは取り外しできません。コネクタを無理に取り外そうとすると、デバイスが損傷し、保証が無効になる場合があります。

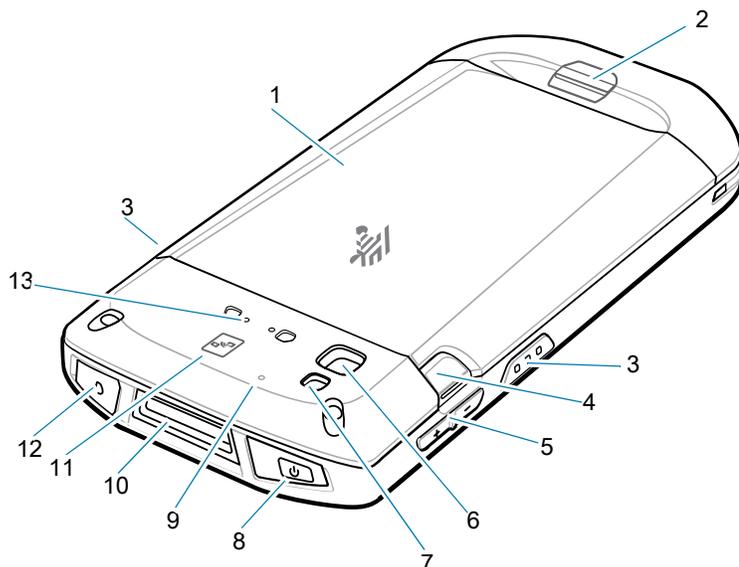
図 1 正面図



番号	項目	機能
1	5MP 前面カメラ	写真やビデオを撮影します。
2	レシーバ	ハンセット モードでのオーディオ再生に使用します。
3	データ収集 LED	データ収集ステータスを示します。
4	マイク	スピーカフォン モードでの通信に使用します。
5	近接センサ	ハンセット モードでディスプレイをオフにする場合の近接状態を判別します。
6	光センサ	ディスプレイ バックライトの輝度をコントロールするために、周辺光を判別します。
7	充電/通知 LED	充電中のバッテリー充電状態とアプリケーションから生成された通知を示します。
8	タッチ スクリーン	デバイスの操作に必要なすべての情報が表示されます。
9	スピーカ	ビデオや音楽の再生音を出力します。スピーカフォン モードで音声を出力します。
10	インタフェース コネクタ	ホストとクライアントの USB 通信、ケーブルやアクセサリを使用したオーディオおよびデバイスの充電に使用します。

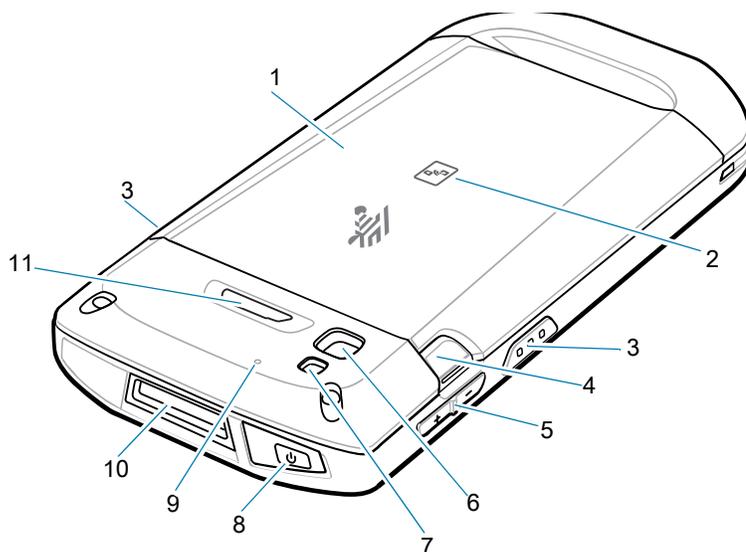
番号	項目	機能
11	マイク	ハンドセット モードでの通信に使用します。
12	スキャン ボタン	データの収集を開始します (プログラム可能)。
13	プログラム可能ボタン	アプリケーションで使用するプログラム可能ボタン。

図 2 TC52x 背面図



番号	項目	機能
1	バッテリー	≥15.48 ワット時 (標準) / ≥4,150mAh PowerPrecision+ リチウム イオン バッテリ
2	ベーシック ハンドストラップ マウント	ベーシック ハンドストラップ アクセサリ用の取り付けポイントになります。
3	スキャン ボタン	データの収集を開始します (プログラム可能)。
4	バッテリー リリース ラッチ	押して、バッテリーを取り外します。
5	音量上/下ボタン	オーディオの音量を上げ下げします (プログラム可能)。
6	13MP 背面カメラ	写真やビデオを撮影します。
7	カメラ フラッシュ	カメラの照明として使用します。
8	電源ボタン	ディスプレイをオン/オフにします。ボタンを長押ししてリセット、電源オフまたはバッテリー交換します。
9	マイク	雑音消去機能に使用します。
10	出カウインドウ	イメージャを使用したデータ収集に使用します。
11	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信を提供します。
12	ヘッドセット ジャック	ヘッドセットへの音声の出力に使用します。
13	トリガ ハンドル マウント	トリガ ハンドルの電気接点と取り付けを提供します。

図 3 TC52x-HC 背面図



番号	項目	機能
1	バッテリー	≥15.48 ワット時 (標準) / ≥ 4,150mAh PowerPrecision+ リチウムイオン バッテリー
2	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信に使用します。
3	スキャン ボタン	データ収集を開始します (プログラム可能)。
4	バッテリー リリース ラッチ	押して、バッテリーを取り外します。
5	音量上/下ボタン	オーディオの音量を上げ下げします (プログラム可能)。
6	13MP 背面カメラ	写真やビデオを撮影します。
7	カメラ フラッシュ	カメラの照明として使用します。
8	電源ボタン	ディスプレイをオン/オフにします。ボタンを長押しして本デバイスのリセット、電源オフまたはバッテリー交換を行います。
9	マイク	雑音消去機能に使用します。
10	出カウインドウ	イメージャを使用したデータ収集に使用します。
11	赤のアラート ボタン	アプリケーションで使用するプログラム可能ボタン。

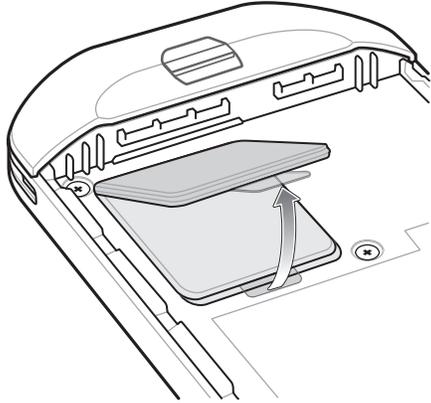
microSD カードの取り付け

microSD カード スロットを不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。スロットはバッテリーパックの下にあります。カードに添付されているマニュアルで詳細を確認し、メーカー推奨の使用方法に従ってください。

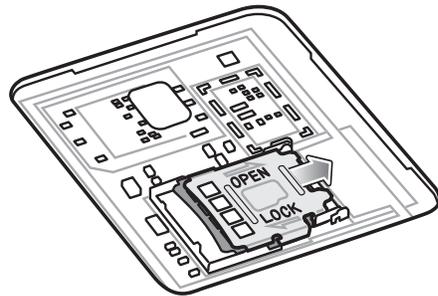
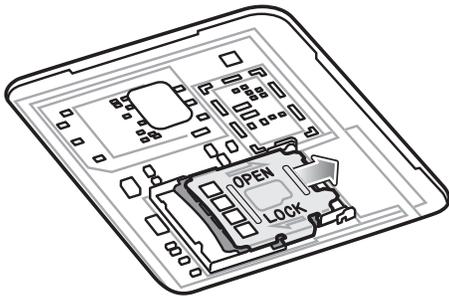


注意: microSD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。

1. アクセス ドアを持ち上げます。

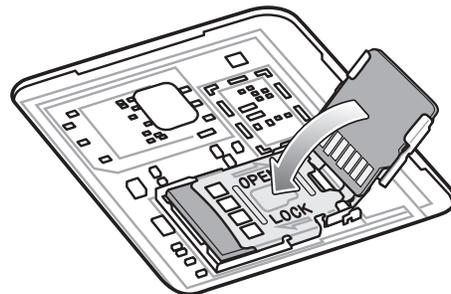
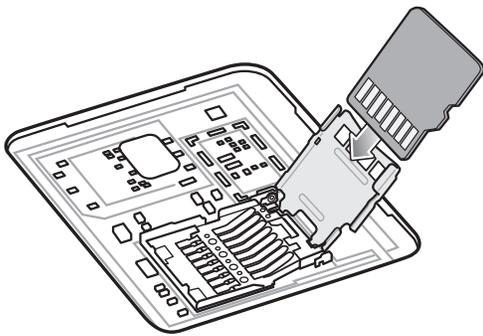


2. microSD カードホルダをスライドさせてロックを解除します。



3. microSD カードホルダを持ち上げます。

4. microSD カードをカードホルダドアに挿入して、ドアの両端にある固定タブ内部にスライドさせて挿入します。

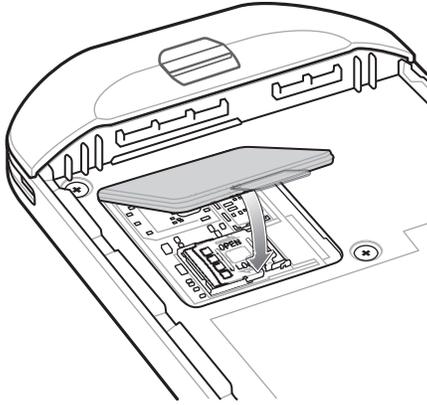


5. microSD カードホルダを閉じ、ロックします。



注意: 適切なデバイスの密閉状態を確保するために、アクセスドアは元の位置にしっかりと取り付ける必要があります。

6. アクセスドアを元に戻します。



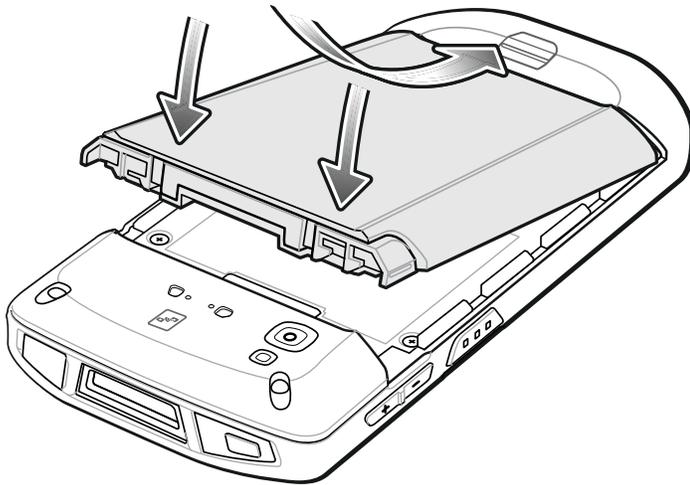
バッテリーの取り付け



注: 特にバッテリー受けに対して、ユーザーによるデバイスの改変 (ラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなど) を加えると、デバイスやアクセサリの意図された性能が損なわれる可能性があります。シーリング (保護等級 (IP))、衝撃性能 (落下および転倒)、機能、耐熱性などの性能レベルが影響を受けることがあります。バッテリー受けにラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなどを付けしないでください。

バッテリーを取り付けるには、次の手順に従います。

1. デバイスの背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。
2. 所定の位置にカチッとハマるまでバッテリーを押し込みます。



デバイスの充電

デバイスおよび/または予備バッテリーを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。

表 1 充電と通信

説明	部品番号	充電		通信	
		バッテリー (デバイス内)	予備バッテリー	USB	イーサネット
1 スロット USB/充電専用 クレードル キット	CRD-TC51-1SCU-01	○	×	○	オプションの モジュールを使用
1 スロット ワークステーション ドッキング クレードル	CRD-TC5X-1SWS-01	○	×	○	○
2 スロット USB/イーサネット クレードル	CRD-TC5X-2SETH-01	○	○	○	○
5 スロット 充電専用クレードル キット	CRD-TC51-5SCHG-01	○	×	×	×
4 スロット 充電専用クレードル (バッテリー充電器キット付き)	CRD-TC51-5SC4B-01	○	○	×	×
5 スロット イーサネット クレードル キット	CRD-TC51-5SETH-01	○	×	×	○
4 スロット バッテリー充電器キット	SAC-TC51-4SCHG-01	×	○	×	×
高耐久性充電/USB ケーブル	CBL-TC51-USB1-01	○	×	○	×

デバイスの充電



注: 『TC52x Product Reference Guide』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従っていることを確認してください。

1. メイン バッテリーを充電するには、充電アクセサリを適切な電源に接続します。
2. デバイスをクレードルにセットするか、ケーブルを接続します。デバイスの電源がオンになり、充電が開始されます。充電中は、充電/通知 LED が黄色で点滅し、充電が完了すると緑色の点灯に変わります。

バッテリーが完全に空になっている場合、約 2.5 時間で 90%、約 3 時間で 100% 充電されます。多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% にフル充電すると、約 14 時間連続で使用できます。最適な充電をするには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。デバイスをスリープ モードにして、室温でバッテリーを充電します。

予備バッテリーの充電

1. 予備バッテリー スロットに、予備バッテリーを挿入します。
2. バッテリーが正しく挿入されていることを確認します。

充電中であることを示す、予備バッテリー充電 LED が点滅します。充電インジケータについては、[表 2](#)を参照してください。

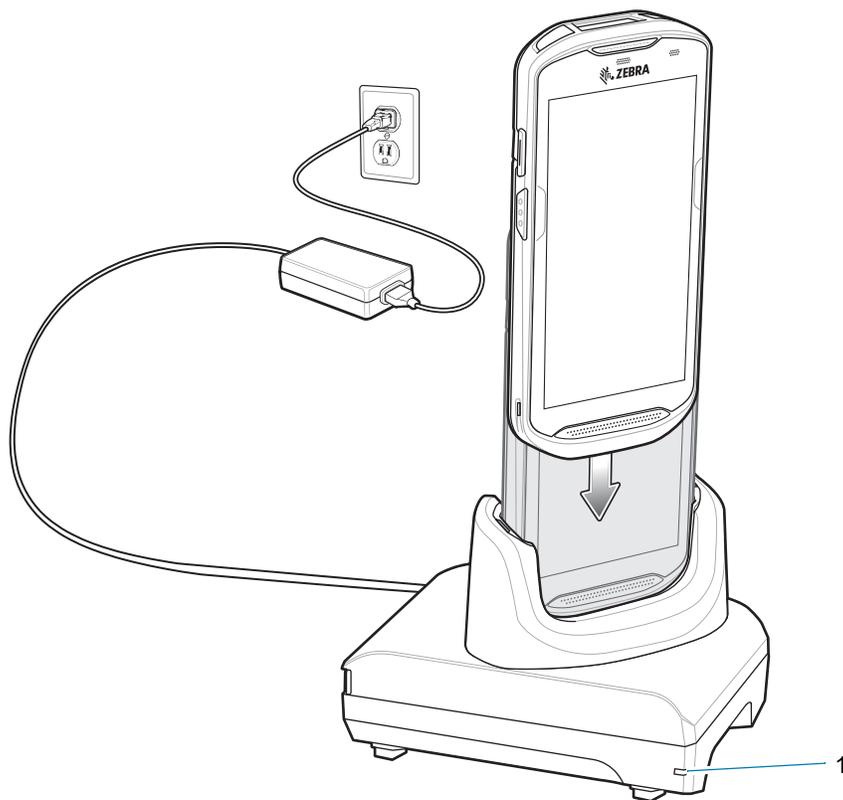
バッテリーが完全に空になっている場合、約 2.3 時間で 90%、約 3 時間で 100% 充電されます。多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% にフル充電すると、約 14 時間連続で使用できます。最適な充電をするには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。

表 2 充電/通知 LED 充電インジケータ

状態	LED	意味
消灯		デバイスは充電されていません。デバイスが正しくクレードルにセットされていないか、電源に接続されていません。充電器/クレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 (4 秒に 1 回点滅)		デバイスは充電中です。
赤色でゆっくり点滅 (4 秒に 1 回点滅)		デバイスは充電中ですが、バッテリーの寿命が近づいています。
緑色の点灯		充電が完了しました。
赤色で点灯		充電を完了しましたが、バッテリーの寿命が近づいています。
黄色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)		充電エラーです。次のような場合にこの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎるか高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)		充電エラーですが、バッテリーの寿命が近づいています。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎるか高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。

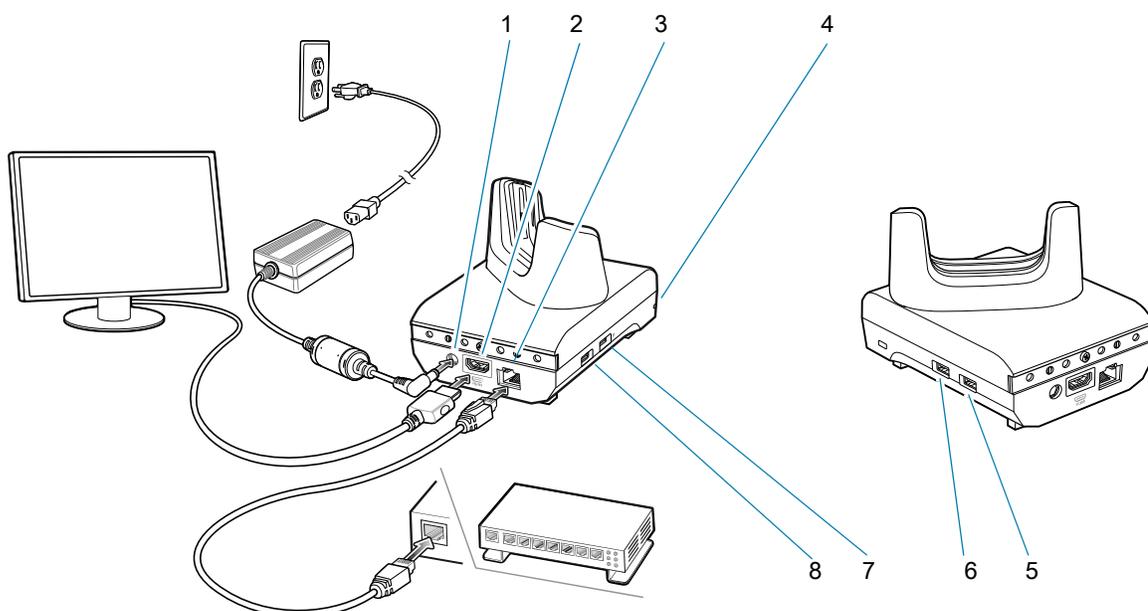
バッテリーの充電は、5 ~ 40°C (41 ~ 104°F) の温度で行います。本デバイスまたはクレードルでは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約 37°C 以上 (98°F 以上) など) には、バッテリーを適切な温度に保つため、短時間でバッテリーの充電を中止したり再開したりすることがあります。異常な温度のために充電が無効になった場合は、デバイスおよびクレードルの LED で示されます。

1 スロット USB 充電クレードル



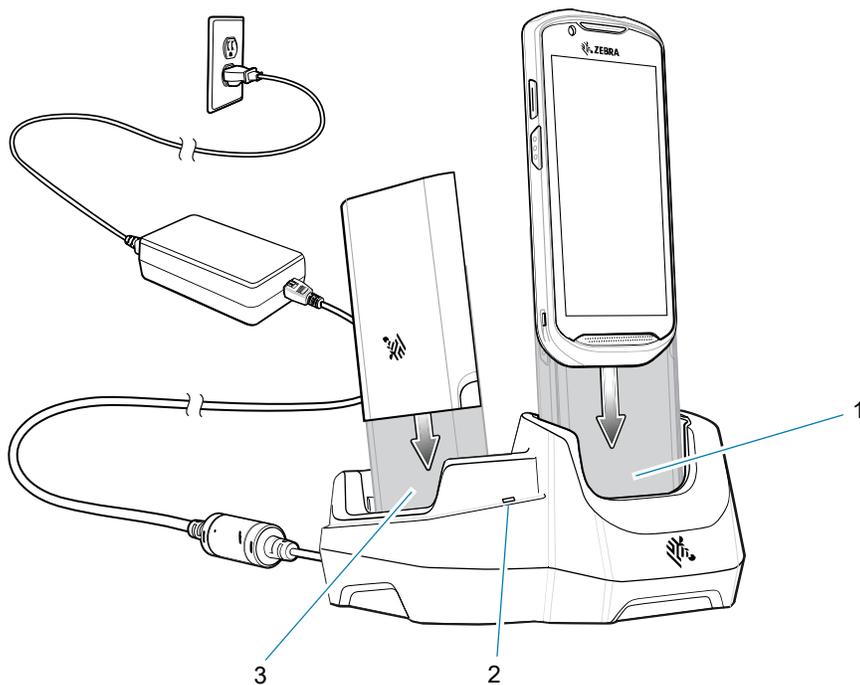
項目	名前	説明
1	電源 LED	電源がクレードルに接続されていることを示します。

1 スロット ワークステーション ドッキング クレードル



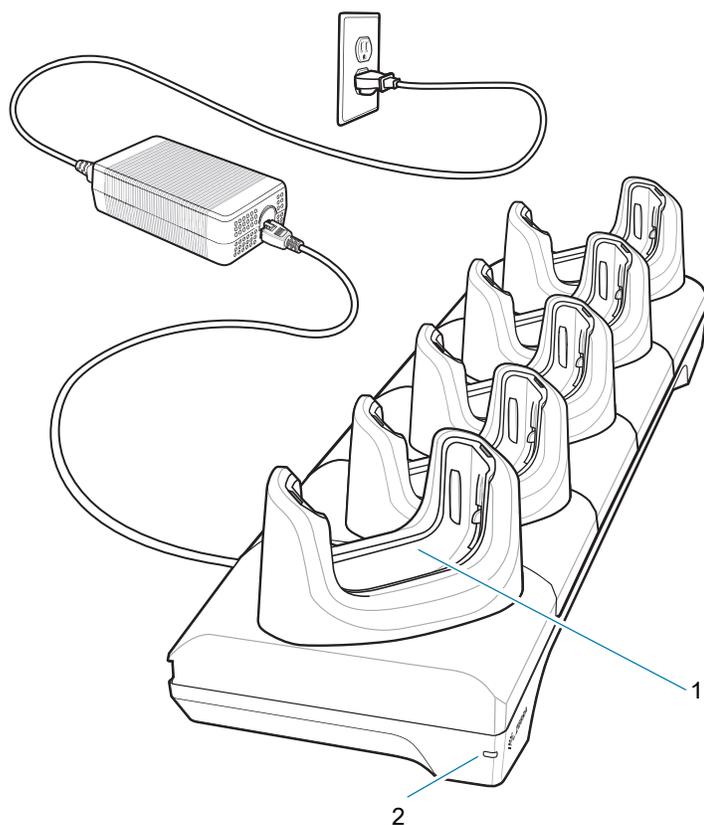
項目	名前	説明
1	電源ポート	クレードルに電源を供給します。
2	HDMI ポート	モニタに接続します。
3	イーサネット ポート	イーサネット ネットワークに接続します。
4	LED	電源がクレードルに接続されていることを示します。
5	USB Type-A ポート	マウスまたはキーボード用の接続。
6	USB Type-A ポート	マウスまたはキーボード用の接続。
7	1.5mA USB ポート	マウスまたはキーボード用、もしくは個人用モバイルデバイス用 USB Type-A ポート。
8	0.5 mA USB ポート	マウスまたはキーボード用 USB Type-A ポート

2 スロット USB/イーサネット クレードル



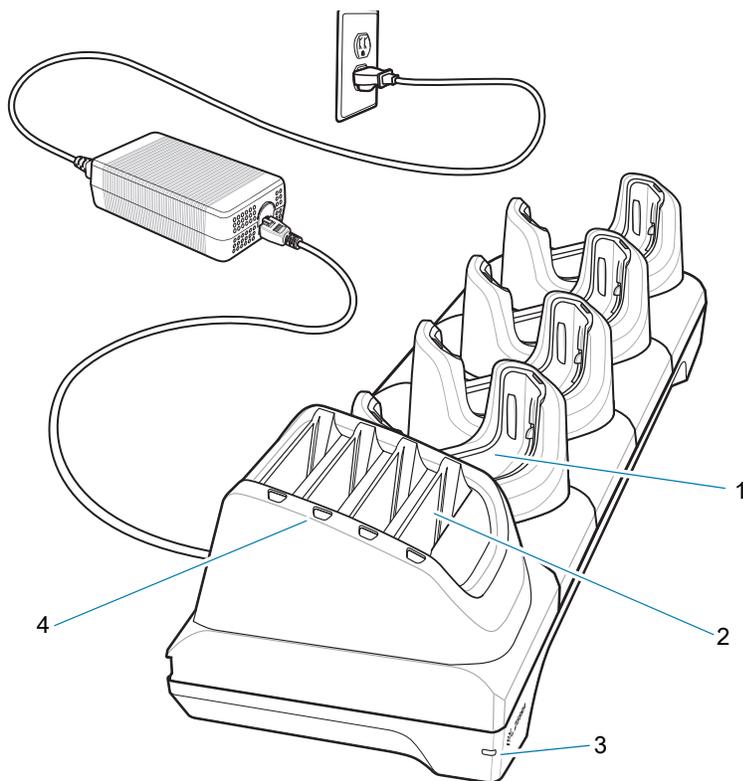
項目	名前	説明
1	デバイスの充電スロット	充電中にデバイスを固定します。
2	予備バッテリー充電 LED	予備バッテリーの充電状態を示します。
3	予備バッテリー スロット	充電中に予備バッテリーを固定します。

5 スロット充電専用クレードル



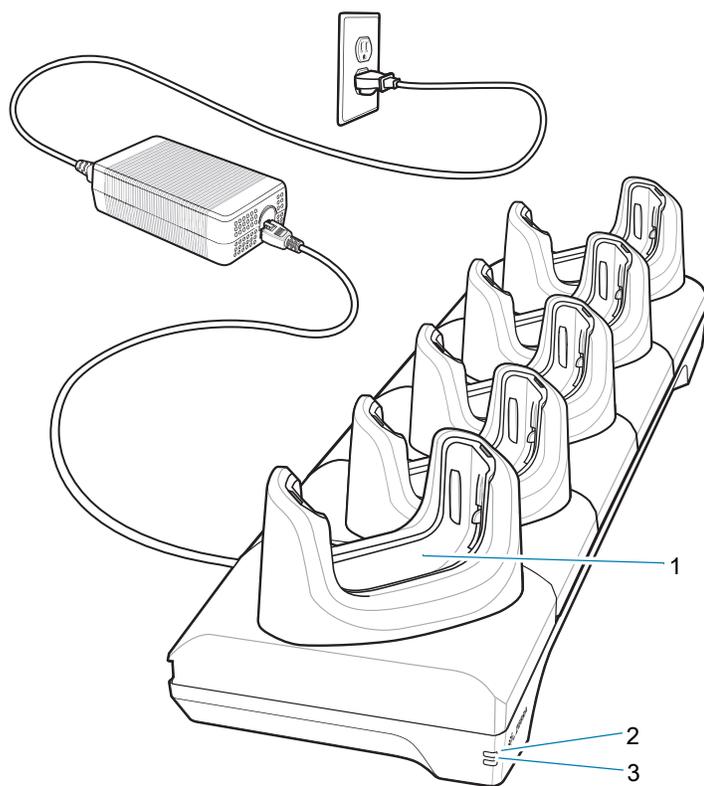
項目	名前	説明
1	デバイスの充電スロット	充電中にデバイスを固定します。
2	電源 LED	電源がクレードルに接続されていることを示します。

4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器付き)



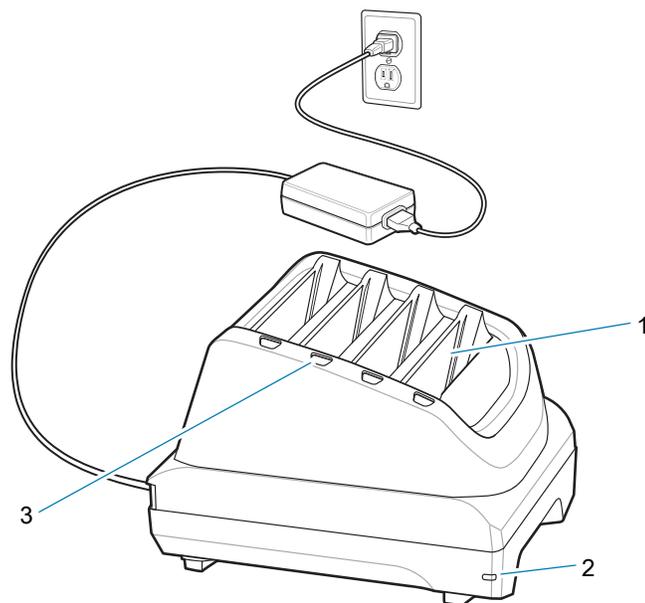
項目	名前	説明
1	デバイスの充電スロット	充電中にデバイスを固定します。
2	予備バッテリー スロット	充電中に予備バッテリーを固定します。
3	電源 LED	電源がクレードルに接続されていることを示します。
4	予備バッテリー充電 LED	予備バッテリーの充電状態を示します。

5 スロット イーサネット クレードル



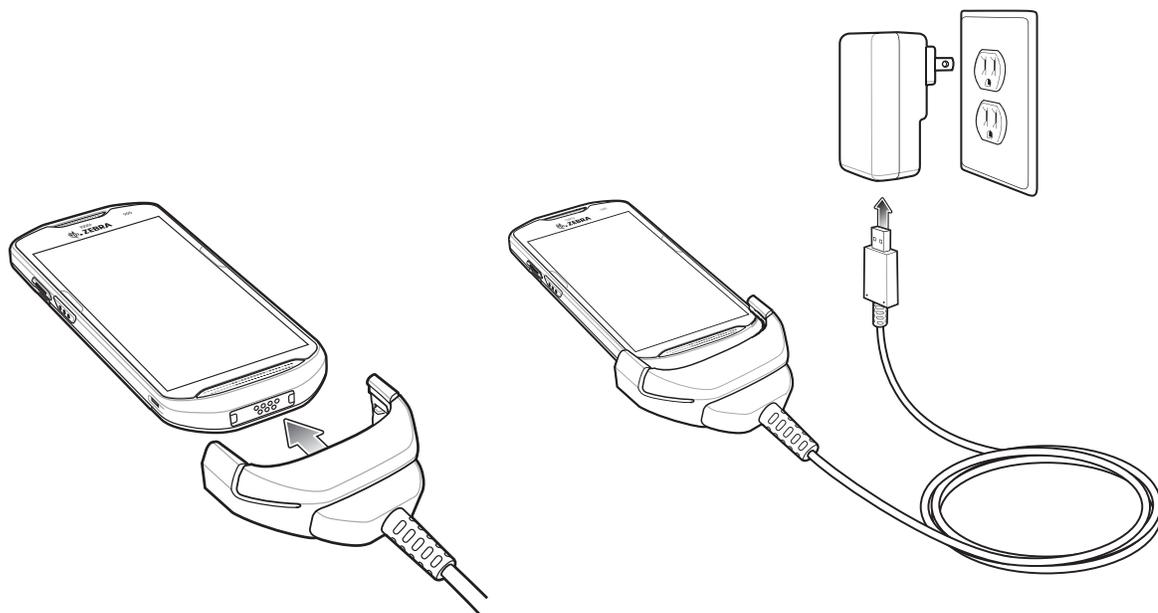
項目	名前	説明
1	デバイスの充電スロット	充電中および通信中にデバイスを固定します。
2	1000 LED	オンまたは点滅時、データ速度が 1Gbps であることを示します。
3	10/100 LED	オンまたは点滅時、データ速度が 10Mbps または 100Mbps であることを示します。

4 スロット バッテリー充電器



項目	名前	説明
1	予備バッテリー スロット	充電中に予備バッテリーを固定します。
2	電源 LED	電源がクレードルに接続されていることを示します。
3	予備バッテリー充電 LED	予備バッテリーの充電状態を示します。

高耐久性充電/USB ケーブル



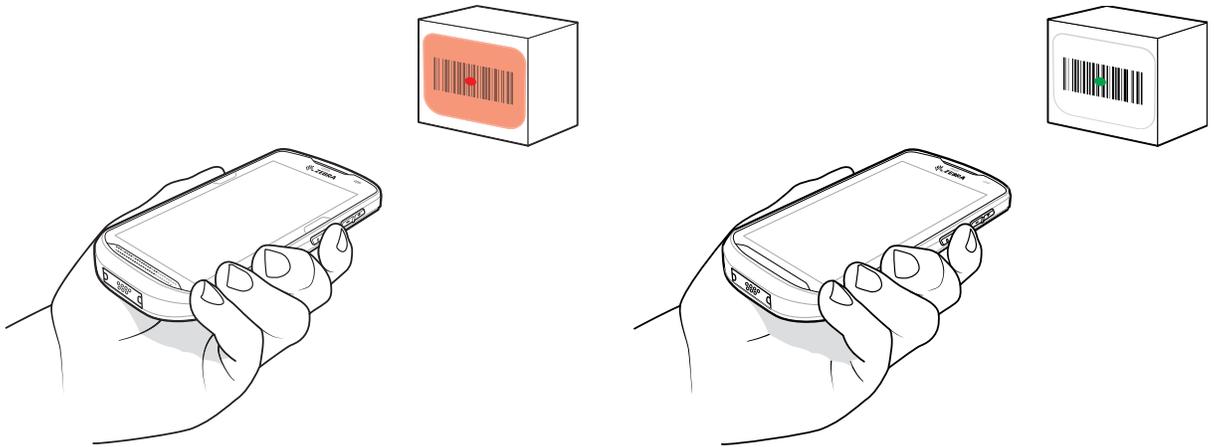
スキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。このデバイスには、ユーザーがイメージャでバーコード データを読み取ったり、バーコード コンテンツを表示したりできる、DataWedge アプリケーションが含まれています。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. デバイスの上部にある出カウィンドウをバーコードに向けます。
3. スキャン ボタンを長押しします。

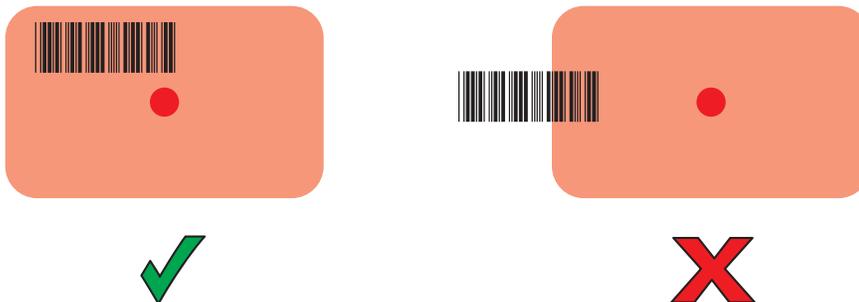
TC52x では、照準を合わせるための赤色の LED 照準パターンおよび赤色の照準ドットがオンになります。

TC52x-HC では、照準を合わせるための白色の LED 照準パターンおよび緑色の照準ドットがオンになります。

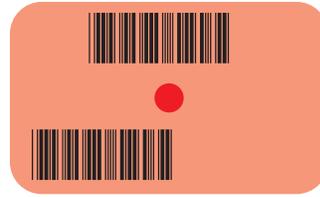
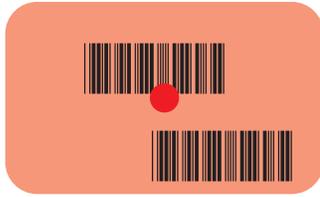


注: デバイスがピックリスト モードの場合、十字またはドットの照準がバーコードに当たるまでイメージャはバーコードを読み取りません。

4. 照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。明るい照明下でもよく見えるようにドットの照準を使用しています。



照準パターン



ピックリストモード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合

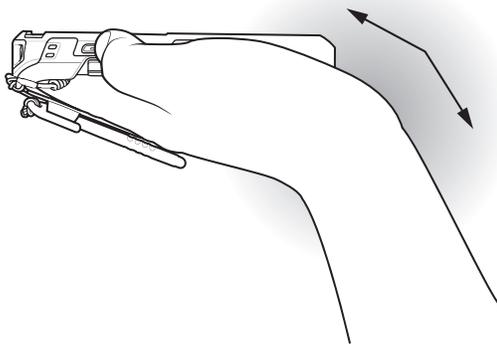
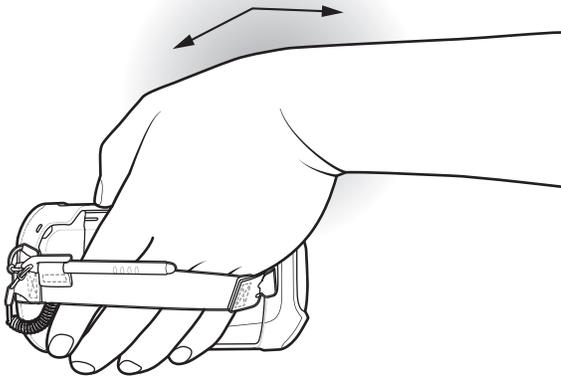
5. デフォルト設定の場合、データ収集 LED が緑色で点灯してビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。
6. スキャン ボタンを離します。



注: イメージャの読み取りは、通常、瞬時に行われます。精度の悪いバーコードや読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、デバイスがデジタル写真 (画像) を撮影する手順を繰り返します。

7. バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。

人間工学に関する考慮事項



手首を極端に曲げないで
ください

